

科目区分	専門科目(必修科目)		
授業名	香粧品化学		担当講師
内容 (授業概要)	美容業の実務において使用されるシャンプー剤やパーマ剤などの効能とその成分などについて学ぶ。高校で化学を履修していないものに対しても必要とされる化学についても併せて学んでいく。	学科	美容学科
		学年クラス	1年
		設定時期	通年
		回数	40回
		時間数	1回=1時限 50分
		時間数	40時間
目標	美容業において使用されるパーマ剤や染毛剤など薬剤の効能などを理解することによって実務をスムーズに行えること。美容師国家試験において香粧品分野を確実に得点できることも目標とする。		
授業計画	香粧品化学	40h	1回 香粧品の定義・社会的意義・品質特性
			2回 香粧品の規制
			3回 香粧品の安定性と取扱上の注意
			4回 香粧品と安全性 まとめ
			5回 香粧品の対象となる人体各部の性状(皮膚・毛・爪)
			6回 水性原料・油性原料
			7回 界面活性剤・高分子化合物
			8回 まとめ
			9回 色材と香粧品
			10回 無機顔料・タール色素・光輝性顔料・天然色素
			11回 香料と香粧品
			12回 その他の配合成分(防腐剤や酸化防止剤など)
			13回 ネイル・まつ毛エクステンション用材料
			14回 まとめ
			15回 皮膚清浄用香粧品・石けん
			16回 その他の清浄剤
			17回 化粧水・クリーム・乳液
			18回 その他の基礎香粧品(シェービング用香粧品・パック剤など)
			19回 まとめ
			20回 メイクアップ用香粧品・ベースメイクアップ
			21回 メイクアップ用香粧品・ポイントメイクアップ
			22回 まとめ
			23回 シャンプー剤 シャンプー
			24回 シャンプー剤 リンス トリートメント
			25回 まとめ
			26回 スタイリング剤
			27回 パーマ剤 パーマの原理
			28回 パーマ剤 使用される薬剤 1剤2剤
			29回 ヘアカラー製品 一時染毛料 半永久染毛料
			30回 ヘアカラー製品 永久染毛剤 脱色・脱染剤
			31回 育毛剤・脱毛の原因
			32回 まとめ
			33回 芳香製品 香水 オーデコロン
			34回 芳香製品 その他の芳香製品
			35回 特殊香粧品 サンケア製品など
			36回 まとめ
			37回 基礎化学 物質の構成 水と溶解
			38回 基礎化学 イオンと水素イオン指数pH 化学反応
			39回 基礎化学 酸化・還元反応 タンパク質
			40回 まとめ
授業方法	講義形式。教科書に加え重要事項を各自が記入するプリントを用い進める。適時国家試験問題を利用し確認を行う。		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
教員紹介	医学部保健衛生学科を卒業。その後塾講師や専門学校、大学の講師活動や各種資格試験対策講座などを担当する。 美容師国家試験(筆記)に精通し、その指導方法には定評がある。		

教科書	化粧品化学(日本理容美容教育センター 発行)
用具	教科書 筆記用具 ノート
履修上の 注意事項	国家試験出題範囲であることを意識して学ぶこと。 高校で化学を履修した者は基本的な範囲を復習しておくことが望ましい。

科目区分	専門科目(必修科目)		
授業名	化粧品化学	担当講師	
内容 (授業概要)	1年次に学んだ内容を復習するとともに国家試験問題を使用し演習を行う。毎時間、演習・解説の組み合わせで進行する。	学科	美容学科
		学年クラス	2年
		設定時期	通年
		回数	20回
		時間数	1回=1時限 50分
目標	美容師国家試験での確実な得点を目標とし、衛生管理や保健などの国家試験範囲との関連づけも行う。		
授業計画	化粧品化学	20h	1回 国家試験問題演習・解説 化粧品の定義・分類
			2回 国家試験問題演習・解説 化粧品原料
			3回 国家試験問題演習・解説 化粧品原料・配合成分
			4回 国家試験問題演習・解説 界面活性剤
			5回 国家試験問題演習・解説 色材
			6回 国家試験問題演習・解説 色材
			7回 国家試験問題演習・解説 香料
			8回 国家試験問題演習・解説 ネイル等材料
			9回 国家試験問題演習・解説 基礎化粧品
			10回 国家試験問題演習・解説 基礎化粧品
			11回 国家試験問題演習・解説 メイクアップ用品
			12回 国家試験問題演習・解説 シャンプー剤
			13回 国家試験問題演習・解説 シャンプー剤
			14回 国家試験問題演習・解説 スタイリング剤
			15回 国家試験問題演習・解説 パーマ剤
			16回 国家試験問題演習・解説 ヘアカラー製品
			17回 国家試験問題演習・解説 ヘアカラー製品
			18回 国家試験問題演習・解説 芳香製品・特殊化粧品
			19回 国家試験問題演習・解説 基礎化学 物質の構成 溶解 水素イオン指数
			20回 国家試験問題演習・解説 酸化・還元
授業方法	講義形式。国家試験問題を使用しての演習と解説を繰り返す。		
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。		
教員紹介	医学部保健衛生学科を卒業。その後塾講師や専門学校、大学の講師活動や各種資格試験対策講座などを担当する。 美容師国家試験(筆記)に精通し、その指導方法には定評がある。		
教科書	化粧品化学(日本理容美容教育センター 発行)		
用具	教科書 筆記用具 ノート		
履修上の 注意事項	国家試験合格を目標に毎回の演習問題を本番の国家試験と思って取り組むこと。 間違えた問題は解説を聞いて理解を深めること。		